

労政時報

<https://www.rosei.jp/readers/>

企業事例

65歳定年延長事例

(東洋インキグループ／オーエスジー／日置電機／東京地下鉄)

実務解説

管理職をめぐる適正な労務管理

実務解説

マネジメント改善に活かす 管理職意識調査の 設計と運用

判例解説

実務視点で読む 最近の労働裁判例の勘所

(平成30年上期)

労働判例

復職不可とする産業医の意見は信用できず、従前の職務を通常の程度に行える健康状態に回復していた以上、
休職期間満了に伴う退職扱いは無効
(神奈川SR経営労務センター事件 横浜地裁 平30.5.10判決)

相談室Q&A

- 採用面接時に精神疾患を申し出た応募者に、診断書の提出を求めてもよいか
- 土日に行った社員旅行の幹事役社員から当日分の賃金を請求された場合、応じなければならないか
- フレックスタイム制を導入している場合の残業許可制の運用をどうすべきか
- 裁量労働制適用者の実際の労働時間が、36協定の限度時間を超えた場合は違法となるか
- 無期転換の説明をせず、有期契約を結んだ後に苦情と転換の申し込みがあった場合、さかのぼって再契約しなければならないか
- 宿泊を伴う遠距離出張者に、業務の都合で急きょ日帰りを命じた場合、出張旅費をどう取り扱うべきか
- 休職中の社員の早期復帰希望に応じて復職させた結果、傷病が悪化した場合、会社に責任はあるか
- 最寄り駅より手前の駅から徒歩で通勤している社員が熱中症で倒れて負傷した場合、通勤災害になるか

INDEX

目次は次ページをご覧ください

TOPICS

8 ニュース 労政ニュース

65歳以上への継続雇用年齢の引き上げに向けた検討／年末調整に関する情報を掲載／事業主等が行う雇用継続給付に関して被保険者の署名・押印を省略 等

【お知らせ】「ここに注目 労働法令のポイント」：本号はお休みさせていただきます。

10 労働関係法令一覧（平成30年8月分）

12 労働判例 労働判例SELECT

復職不可とする産業医の意見は信用できず、従前の職務を通常の程度に行える健康状態に回復していた以上、休職期間満了に伴う退職扱いは無効（神奈川SR経営労務センター事件 横浜地裁 平30. 5.10判決）

特集1 企業事例

14 65歳定年延長事例

2025年度の年金支給開始65歳を視野に、ベテラン社員のスキル・技能を活かし、労働力確保を図る4社

21 東洋インキグループ

2014年以降、63歳・65歳の2段階で定年引き上げ。
60歳以降も「シニア役割グレード」に基づき一定の役割遂行を期待

35 オーエスジー

基本給が60歳到達前の66%となるよう設定。成績評価による賞与支給幅を大きくし、最高評価の社員は60歳到達前と同水準を支給。ベテラン社員のモチベーションを向上させる

43 日置電機

段階的定年引き上げを前倒しし、2017年4月より65歳定年制へ。同時に70歳までの継続再雇用制度を整備

52 東京地下鉄

技術・技能を蓄積しているベテラン社員が安心して長く活躍できる仕組みを構築し、少子高齢化による人材難に対応

特集2 実務解説

59 管理職をめぐる適正な労務管理

働き方改革を進める上での、管理監督者の考え方と企業としての対応

藤原宇基 弁護士 岩田合同法律事務所

1. 労働基準法上の「管理監督者」をめぐる現状……60
2. 管理監督者の労働時間・健康管理をめぐる問題……68
3. 管理職からの降格・降職をめぐる問題……71

特集3 実務解説

74 **マネジメント改善に活かす
管理職意識調査の設計と運用**

ミドルマネジメントの支援・指導に展開する新たな活用を考える

片岡幸彦 (株)日本総合研究所 総合研究部門 リサーチ・コンサルティング部門 人事・組織コンサルティンググループ シニアマネジャー/
事業構想大学院大学 客員教授

特集4 判例解説

89 **実務視点で読む 最近の労働裁判例の勘所(平成30年上期)**

企業側弁護士による実務に役立つ判例解説

丸尾拓養 弁護士 丸尾法律事務所

連載

105 **人事担当者のためのデータアナリティクス／データリテラシー入門**
第4回 人材特性診断を活用したハイパフォーマー分析の一例

富沢日出夫 学校法人産業能率大学総合研究所 経営管理研究所 人事・マネジメント研究センター 主任研究員

116 **相談室Q&A**

- 採用面接時に精神疾患を申し出た応募者に、診断書の提出を求めてもよいか……116
- 土日に行った社員旅行の幹事役社員から当日分の賃金を請求された場合、応じなければならないか……118
- フレックスタイム制を導入している場合の残業許可制の運用をどうすべきか……120
- 裁量労働制適用者の実際の労働時間が、36協定の限度時間を超えた場合は違法となるか……122
- 無期転換の説明をせず、有期契約を結んだ後に苦情と転換の申し込みがあった場合、さかのぼって再契約しなければならないか……124
- 宿泊を伴う遠距離出張者に、業務の都合で急きょ日帰りを命じた場合、出張旅費をどう取り扱うべきか……126
- 休職中の社員の早期復帰希望に応じて復職させた結果、傷病が悪化した場合、会社に責任はあるか……128
- 最寄り駅より手前の駅から徒歩で通勤している社員が熱中症で倒れて負傷した場合、通勤災害になるか……130